

2025 年 10 月 20 日発行



リウマチ性疾患とワクチン



免疫抑制薬を服用している患者さんのためのワクチンガイド

“強く推奨” の場合、効果が確実でほとんどの患者さんに勧められる。

“条件付推奨” の場合、効果はあるが確実ではない、または価値観・状況により判断が分かれ個別に判断。

- ✓ 65 歳以上のリウマチ性疾患の方や 18 歳超～65 歳未満の免疫抑制療法中の方は、インフルエンザワクチン（不活化）の接種を強く推奨。
- ✓ 65 歳未満の免疫抑制療法中のリウマチ性疾患の方は、肺炎球菌ワクチンを強く推奨。
- ✓ 18 歳以上の免疫抑制療法中のリウマチ性疾患の方は、組換え帯状疱疹ワクチン（不活化）を強く推奨。

免疫抑制薬や副腎皮質ステロイド薬内服中の場合、生ワクチンは接種してはいけません。

非生弱毒化ワクチン接種時の免疫抑制薬のマネジメント（条件付推奨）

	インフルエンザワクチン	その他の非生弱毒化ワクチン
メトトレキサート	接種後2週間休薬*	投与継続
リツキシマブ	投与継続**	次のリツキシマブ投与日に合わせてワクチン接種を行い、その後少なくとも2週間休薬
それ以外の免疫抑制薬	投与継続	投与継続

* 疾患活動性が許容できる場合のみ。一般の小児科や内科医などは、インフルエンザワクチン接種、その後メトトレキサート休薬についてリウマチ専門医に相談し接種機会を逃さない。

** インフルエンザワクチン接種をスケジュール通り実施し、接種後少なくとも2週間はリツキシマブの投与を延期する

副腎皮質ステロイド薬を内服中、非生弱毒化ワクチンを接種して良いか延期か？

プレドニゾン	インフルエンザワクチン	その他の非生弱毒化ワクチン
10mg/日以下*（強く推奨）	投与	投与
10mg/日超～ 20mg/日未満*（条件付推奨）	投与	投与
20mg/日以上*（条件付推奨）	投与	延期**

* または他のグルココルチコイド製剤の同等の用量、または同等の小児用量。

** プレドニゾン 20mg 未満相当に減量されるまでワクチン接種は延期。

同じ日に複数のワクチンを一緒に受けてよいか？

リウマチ性疾患の患者さんの場合、各ワクチンを別々の日に接種するのではなく、同じ日に複数のワクチンを行ってもよい（条件付推奨）。